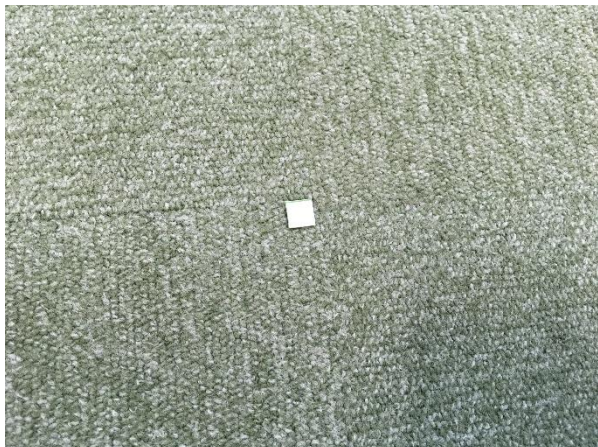


オープンプラン4年生 算数

「広さを調べよう」
～教室の面積は何 cm^2 ?～



教室の面積は何 cm^2 (1 cm^2 何個分) か調べよう!

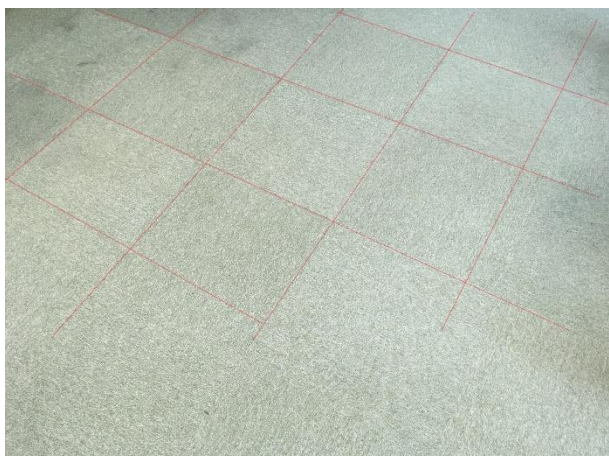
「無理!」
「めんどくさい!」
「夕方になっちゃうよ!」

子どもたちは、面積の学習をしています。
「一辺が1 cm の正方形の面積を1 cm^2 という」
このことは授業ですでに学びました。

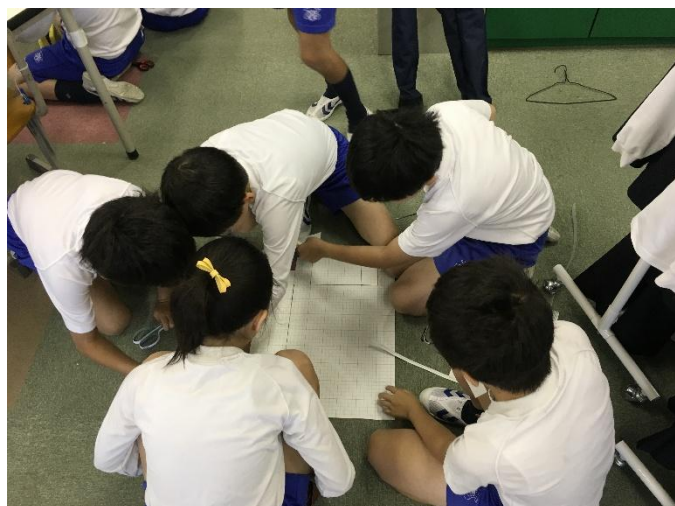
「カーペット1枚ならいけるけど、教室は無理」

教室の面積を調べるのは諦めました。

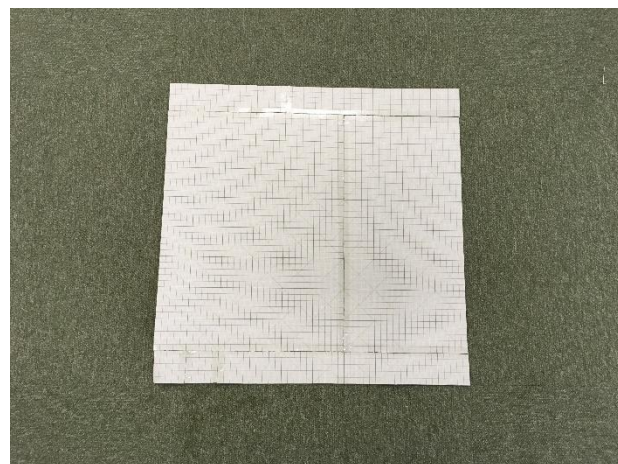
代わりに、子どもたちが言うように
教室に敷きつめてあるカーペット1枚分の
面積を調べることにしました。



工作用紙を使って
カーペット1枚分の面積を作ろう!

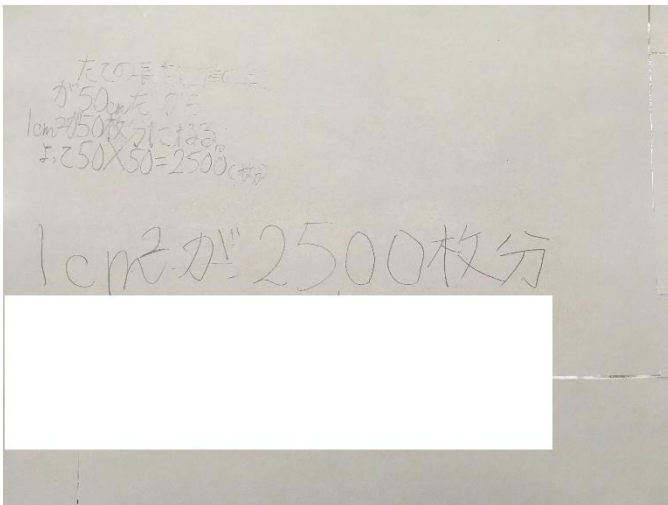


子どもたちは、グループで協力して
工作用紙を切り貼りし、カーペットと
同じ面積を作っていました。



できました！

カーペット1枚の面積は何 cm^2 なのでしょう？



「 $50\text{cm} \times 50\text{cm} = 2500\text{cm}^2$ 」

「意外と多い！」

グループでやり取りをしながら作る中で
答えは、既に出ていたようです。

このあと、子どもたちは
作った工作用紙を4枚つなげて
 1m^2 という大きな面積の単位を学習しました。

ここで考えたこと、体験したことを使って
 $1\text{m}^2 = 10000\text{cm}^2$ ということも学習しました。

実は、 $1\text{m}^2 = 100\text{cm}^2$ と勘違いしてしまう
4年生がとても多いのです。

$1\text{m}^2 = 10000\text{cm}^2$ という単位変換を
頭だけでなく実体験として理解することが
とても大切なことなのです。

子どもたちにとって、どのような体験が
確かな理解に繋がるのかを日々、考えています。

本校では、このような具体操作活動を
研究・実践しています。

カーペット1枚分の面積がわかった後、
教室をうろうろしながら
教室のカーペットを数え始めた子がいました。
その子によると、教室の面積は

2560000cm^2 だったようです。